

臨床現場の自己学習支援

このようなお困りごとはありませんか

術式別マニュアルの分散による管理の煩雑化

病院ごとに術式別の準備手順が多数存在。マニュアルは各所に散在し、最新版の特定や周知が難しい

新人教育の負荷増大

患者対応や記録業務、突発対応の連続で教育計画まで手が回らない

到達度の不透明さ

「誰が、どの術式で、どこまでできるか」などスキルの可視化ができず、合否基準／再訓練の起点が曖昧

課題解決へのアプローチ



自院のマニュアルを AIで教材化

術式別マニュアル等を参照元として、AIが模擬的な質疑応答シナリオや小テストを自動生成。教材作成の手間と時間を大幅に削減。



チャット形式の 自己学習支援

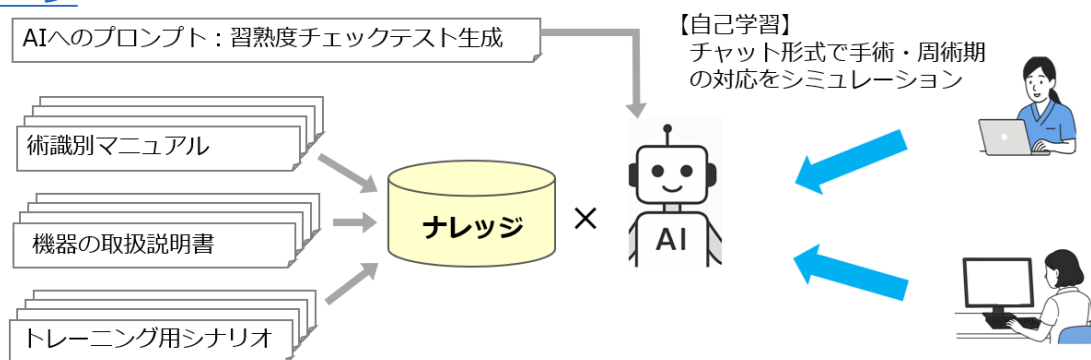
AIが生成したシナリオを活用し、チャット形式で手術・周術期の対応をシミュレーション。実際の業務に近い状況で知識や対応スキルを習得。



スキルの可視化と 運用への展開

誰がどの術式を担当できるかスキル到達度を可視化し、現場のシフト作成や割付判断に連動。

運用イメージ



導入効果



教材作成時間を 大幅削減

手が回らなかった教材づくりも手軽に短時間で作成可能に



早期戦力化を支援

OJT期間を大幅に圧縮し即戦力化を支援



配属判断を効率化

スキル到達度の可視化で人員配置の精度向上